

気象警報・避難情報発令!!

その時、あなたはどこに逃げる？

水害警報が発令。その時、あなたはどこに逃げますか？ 予測できる災害だからこそ、水害が発生する前に避難をして自分や家族、そして地域の住民の安全を確保しましょう。



凡例

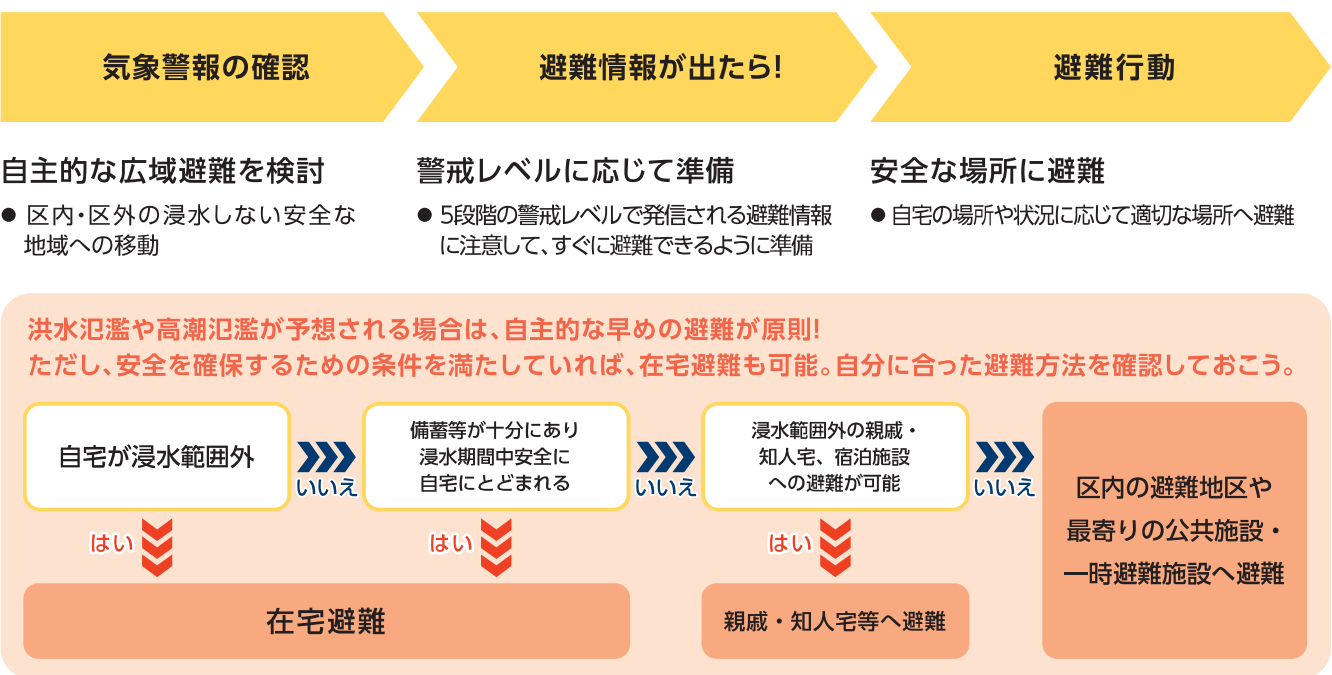
- 満潮面以上であるが高潮の脅威にさらされる地域(A.P.+5.0m)
- 満潮面以下の地域(A.P.+2.0m)
- 干潮面以下の地域(A.P.±0m)

濃い赤の地域は、川や海よりも低い地域です。大正～昭和時代にかけて、工業用水や天然ガスを地下からくみ上げたことが原因で、最大約4.57m(南砂2丁目)も地盤沈下してしまいました。水害のリスクが高いエリアなので特に気を付けましょう。

水害対策の基本はとにかく早く逃げる

江東区は、荒川の洪水氾濫、または高潮氾濫が発生した場合、広い範囲に長時間の浸水が想定されています。気象庁や区から避難情報が出る前でも、命を守るためには、早め早めに自主的な避難をすることが重要です。

避難の考え方



水害は予測できる。だからこそ備える

地震とは異なり、水害の発生はある程度予測でき、気象庁や区などの公的機関から防災情報や避難情報が発信されます。発生が予測できる災害だからこそ、発生時に適切な判断ができるように日頃から備えておくことが重要です。

STEP1 大雨前の備え

- ☐ 自宅や職場は浸水範囲かどうか知っているか
- ☐ ライフラインが止まった時の食料や備蓄品は十分か
- ☐ 浸水対策はできているか

STEP2 避難前の確認

- ☐ 避難情報が出たときに避難する場所は分かっているか
- ☐ 緊急時の非常用持出袋は準備できているか

STEP3 避難時の注意

- ☐ もしもの時に、地域の住民同士で助け合える関係ができているか
- ☐ 避難所での過ごし方を知っているか(詳しくは、P.81)

次のページからは、どうやって備えればいいのか見ていくよ! 水害にも、みんなで、そなエール!



STEP1 大雨前の備え

自宅や職場は浸水範囲かどうか知っているか



江東区での水害の備えには、ハザードマップが有効だよ！
ハザードマップの見方を説明するね。詳しくはP.15～19を見てね！

種類の確認

- 計5枚のマップが存在
 - ・江東区の水害は、洪水・高潮・大雨浸水の3種類存在
 - ・このうち洪水と高潮は浸水の深さと継続時間の2枚ずつ存在

洪水(深さ・時間)



高潮(深さ・時間)



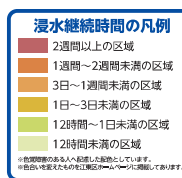
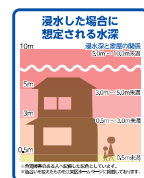
大雨浸水(深さ)



色の確認

- 自宅・職場周辺の色を確認
 - ・特に色が濃くなっている地域は要注意！
 - ・色が白、もしくは緑の線で囲われている地域以外はすべて危険

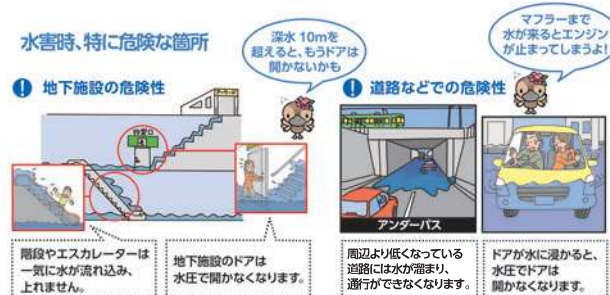
色が濃くなるほど危険！(浸水が深い、もしくは時間が長い)



危険スポットの確認

- 水害時の危険な道を確認
 - ・をマップで確認
 - ・水害時には、周辺より低くなっている道路(アンダーパス)は要注意！
 - ・地下施設も水が溜まりやすいため、近づかないように！

地下施設、道路のアンダーパスには要注意！



ライフラインが止まった時の食料や備蓄品は十分か

自宅が安全で備えがあれば、在宅避難も可能。
食料や備蓄品を確認しておきましょう。

詳しく確認 ▶P.53

P.57
掲載



大雨が降ってから、土のうを設置するのは大変困難。早めに浸水対策をしておきましょう。

詳しく確認 ▶P.91

P.92
掲載



STEP2 避難前の確認

避難情報が出たときに避難する場所は分かっているか



避難場所もハザードマップに載っているよ！
もしもの時に逃げる場所を確認してね。詳しくはP.20を見てね！

避難地区の確認

- P.20のマップで緑色／水色で囲われている場所を確認
- ・江東区内でも地盤が高いため、浸水せず、公園や広場がある地域

公共施設の確認

- マップに●マークがついている施設を確認
- ・想定される水深より高いフロア(階数)がある公共施設を確認
 - ・避難地区に移動する時間がない場合はここに！

緊急時の非常用持出袋は準備できているか

■ 非常用持出袋の内容(例)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ☐ 飲料水(1人1日3リットル程度) | ☐ ライト |
| ☐ 非常食(調理不要のもの) | ☐ 紙皿・紙コップ・割り箸 |
| ☐ 救急用品・常備薬 | ☐ 携帯トイレ |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 洗面用具・使い捨てカイロ |
| ☐ 貴重品・現金 | ☐ マスク・消毒用アルコール |
| ☐ 衣類・下着 | |
| ☐ モバイルバッテリー・乾電池 | |

詳しく確認 ▶P.39

「日常備蓄」もおすすめ！

自宅に十分な高さがある場合は、自宅での緊急避難も可能です。自宅での避難に備えて、普段から使う・食べるものを多めに買っておく「日常備蓄」がおすすめです。

詳しく確認 ▶P.71

STEP3 避難時の注意

もしもの時に、地域の住民同士で助け合える関係ができているか

- ・日頃から地域の住民同士で顔の見える関係を構築しておき、もしもの時に、助けが必要な人がいないか確認しておきましょう。
- ・マンション等の1～2階に住んでいる人は、緊急時に上の階に避難できるように事前に自治会・マンション管理組合で検討しておきましょう。

Point

安全のため、東京都や江東区でも堤防の強化や内部河川の整備、下水道の整備など治水対策を行っています。ただし、想定を上回る災害が発生する可能性も十分にあるため、日常から水害に備えることが重要です。